



脱炭素 まちづくり カレッジ

地域内のプレイヤーが協力して、
2030年までに温室効果ガス半減を目指す
ロールプレイング型カードゲーム体験会です。



温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち
キャラクター とめ麻呂くん



脱炭素まちづくりカレッジは、2030年半減に向けてまちづくりの推進を疑似体験するロールプレイングゲーム型の未来体験プログラムです。

参加者は、地域のプレイヤーを演じ、2030年までに自分の排出量、地域全体の排出量の半減に向けて、様々なプロジェクト実施にチャレンジします。プロジェクト実施には、他のプレイヤーと資金や人的ネットワーク、情報交換、協働することがとても重要となります。

プロジェクトには、大幅削減につながるものもあれば、逆に増えてしまうもの（トラップ）もあるので、よく考えて行動しましょう。さあ、果たして2030年半減は達成できるのでしょうか？

参加無料

申込フォーム



体験者の声

- ・最初は自分のことだけ考えて行動していたが、徐々に全体のこと、他のプレイヤーのことに気配りするようになった。
- ・プロジェクトの意味合いを考える大切さを実感できた。
- ・一番最初に出したカードがトラップカードでとてもショックだった。
- ・プロジェクトの内容をよく考えないで動いていたことを改善すれば結果がもっと良くなると思った。
- ・意味も分からないで行動してしまった結果、脱炭素に逆効果の動きをしてしまった。
- ・ゲームのように現実世界でももっと「見える化」をしていかないと感じた。行政主導で是非実行してほしい。

9月28日(日) 13:00～16:00 受付＝12:45～

会場：吉敷地域交流センター

(山口市吉敷佐畑1-4-1)

対象：中学生以上の市内在住・在勤・在学の方

定員：30名（先着）

申込：9月24日(水)までに上記申込フォームへ

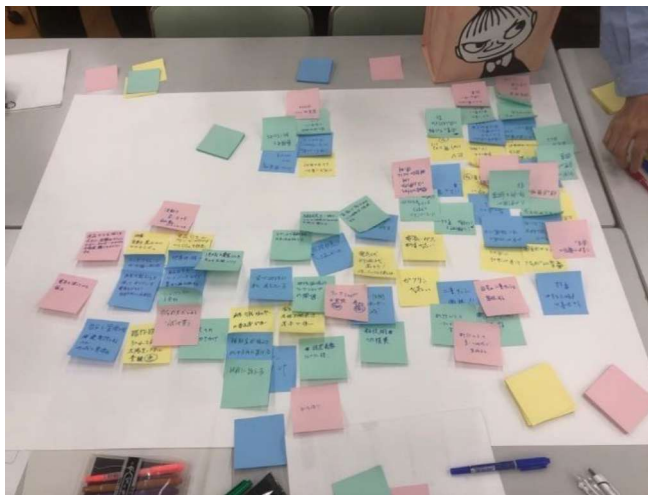
問合せ：温暖化とめるっちゃネットワークやまぐち

(山口市環境政策課内)

TEL:083-934-2687

MAIL:tomeruccha@orion.ocn.ne.jp

昨年の様子



講師プロフィール

阿部昭彦（あべあきひこ）

一般社団法人SDGs未来ラボ代表理事

横浜国立大学教育学部卒業後、都内私立中高一貫校の国語科専任教諭。2014年より、柳川市地域おこし協力隊。空き店舗をDIYリノベーションしてコラボレーションスペース「KATARO base 32」を開設するなど、新たな人の流れとコミュニティを創造した。任期満了後は、SDGs普及のための各種資格を取得し、企業・自治体・学校等で幅広く活動を展開している。

